

**問** 安倍首相は、所信表明演説で国民の所得が失われることを経済危機の要因に挙げています。地方自治体に給与の削減を強制し、政府が主導して国民の所得を奪おうとするやり方は改めるべきと思うかどうか。

**市長** 地方公務員の給与というのは、まず公平中立な知見を踏まえ、議会、そして住民の皆さんの意思に基づき、地方自治体が自主的に決定すべきものと思います。国がルール無視で踏み込んだことは、非常に遺憾です。

**地方分権に逆行しないか**

**問** 地方公務員の給与削減を行わない場合の国のペナルティー措置は、地方自治の本旨に反し、地方分権に逆行するものと思うかどうか。

**市長** ペナルティーはないと思います。総務省の審議官に再三にわたって各市長が確認をしました。が、一切ペナルティーはないと答えています。

**問** しかし、1月27日に新藤義孝

総務大臣は、地方公務員の給与削減について「財政削減の必要性を示していく上で、地方交付税を減らすことができてよかった」と述べているがどう思うか。

**市長** 本来総務省は、市町村の味方だと思っておりますが、今回は市町村と敵対するような活動もしていることは、残念な思いもあります。

**問** 河北新報は、宮城県内の給与削減対象自治体24市町中12市町が一般職の給与削減に応じない方針であると報道している。岩沼市も国に先んじて、市長はじめ教育長など特別職の報酬削減をするなど努力してきたことを考えると、給与削減はとどまるべきだと思いませんか。

**市長** よその自治体はそれぞれ考えていただくわけです。残念ながら提案させていただきません。

◎その他の一般質問  
東北メディアカル・メガバンク機構による遺伝子情報の収集



地方公務員の給与削減

松田 由雄

**問** いじめ問題について、例えば大垣市の中学校の中学生人権宣言や、小学校のチクチク言葉をなくそう・ポカポカ言葉を集めようのように、子どもたちがいじめをなくす立場で自主的に取り組む、学校での計画や実践があるか伺う。

**教育長** 8月に子どもたちの代表が大垣市で「いじめゼロスクール」の取り組みを確認し、話し合ってきました。子どもたち自身の自主的な活動による全校的な取り組みを大変期待しています。

**一番掛けてほしい言葉は**

**問** いじめる側の子どもたちが一番掛けてほしい言葉は「何か嫌なことがあったの」だそう。安心して話していいよという時間やコミュニケーションを大事に考え、悩みやストレスを聞き取り、寄り添い、いじめを反省し、人間的に立ち直るまで徹底した対応が必要と考えるがどうか。

**問** 不登校対策に関し、児童生徒の成就感や有関感を育む支援として、学校、家庭、保護者が連携を密にし、体験教室や学習教室を実施してはいいかがか。

**教育長** よその自治体はそれぞれ考えていただくわけです。残念ながら提案させていただきません。

**教育長** 体験学習は学校と別枠で実施することは考えていません。学習教室は「けやき教室」への誘いをしたいと考えます。

◎その他の一般質問  
AED



いじめ・不登校対策

渡辺 ふさ子